

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会（資料配布）
  2. 国土交通記者会（資料配布）
  3. 国土交通省建設専門紙記者会（資料配布）
- 日時：平成24年7月11日15時同時配布



平成24年7月11日  
独立行政法人土木研究所

## 甚大な損傷を有する普代水門管理橋の調査について

### 1 結論（要点）

当所、構造物メンテナンス研究センター（CAESAR）と社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会は、両者間の協力協定に基づき、平成24年7月17日（火）8時30分から、甚大な損傷を有する普代水門管理橋（岩手県下閉伊郡普代村）において、構造物の安全性確認手法の確立を目的とした振動試験を行います。

### 2 経緯（説明背景）

維持管理の時代を迎え、構造物の高齢化が進む中、劣化損傷した構造物の安全性確認手法確立への期待がますます高まっています。

今回は、東日本大震災で発生した津波によって甚大な損傷を受け、一部が落橋した普代水門管理橋を対象として振動試験を行い、残存する耐荷性能を振動性状の変化によって評価する手法を検証します。

また、同時に、CAESARが主催する「CAESARメンテナンス技術交流会」の検査・計測技術を有する会員に対して技術検証用フィールドとしてこの場を提供します。

### 3 参考

添付資料 調査概要

問い合わせ先

独立行政法人土木研究所

構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ

上席研究員 木村 嘉富

電話番号 029-879-6795

# 甚大な損傷を有する普代水門管理橋の調査



普代水門管理橋 第3径間の損傷状況

## 調査内容



振動試験：  
激しく損傷した橋梁の振動性状の変化を確認